努力の方向性
4つの分野の充実

「人」の充実
海上自衛隊の根幹である「人」

募集・援護の強化

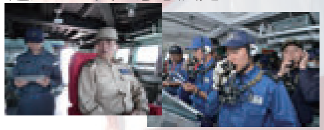
効果的・効率的な教育

充実感あふれる勤務環境

「機能」の充実
国民を守るための「機能」

先進技術・装備品

迅速・確実な意思決定

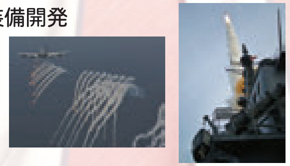


造修補給・施設等

「構想」の充実
考え方＝「構想」

戦略・戦術等

装備開発



知識・経験の共有

「協働」の充実
共同・統合・総合＝「協働」

米海軍との共同

他国との防衛協力・交流

他自衛隊・他省庁・民間との協力

海上自衛隊ホームページ

海上自衛隊YouTube

防衛省　海上自衛隊

海上自衛隊FaceBook

海上自衛隊Instagram

海上自衛隊Twitter

自由で開かれた海洋に向けて
～海上自衛隊戦略指針～

精強・即応

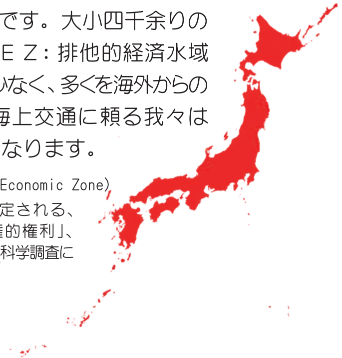
変化への適合

目　標

我が国の領域及び周辺海域の防衛

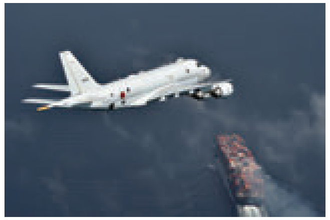
日本は、四方を海に囲まれた島国です。大小四千余りの島々からなる我が国は、広大な※ＥＥＺ：排他的経済水域（世界第６位）を持っています。資源も少なく、多くを海外からの輸入に頼っています。そのため、海上交通に頼る我々はその安全確保と秩序の維持が重要となります。

※ＥＥＺ：排他的経済水域とは？　(Exclusive Economic Zone)
　海洋法に関する国際連合条約に基づいて設定される、天然資源及び自然エネルギーに関する「主権的権利」、並びに人工島・施設の設置、環境保護・保全、海洋科学調査に関する「管轄権」が及ぶ水域のことを指す。



海上交通の安全確保

海上自衛隊は平素から航空機（Ｐ－１及びＰ－３Ｃ）により、航行する船舶などの状況を監視するほか、不測事態に対応するため、艦艇・航空機を柔軟に運用して日本周辺海域における警戒監視活動を行っています。


警戒監視活動中のＰ－１

望ましい安全保障環境の創出

我が国は自由で開かれた海洋のために、インド太平洋諸国とともに地域の特性や相手国の事情を考慮しつつ、多角的・多層的な安全保障協力を戦略的に推進していきます。

ＡＳＥＡＮ乗艦協力プログラムでの防衛交流
各国海軍との防衛交流
スリランカ海軍との親善訓練

そのために

活　動

環境の形成

常に安全保障環境を改善し続けることにより、脅威が現れるのを防ぎます。

例えば・・・

国際緊急援助活動　　防 衛 交 流　　能力構築支援

平素からの対応

積極的な活動を通じ、事態の発生とその悪化を防ぎます。

例えば・・・

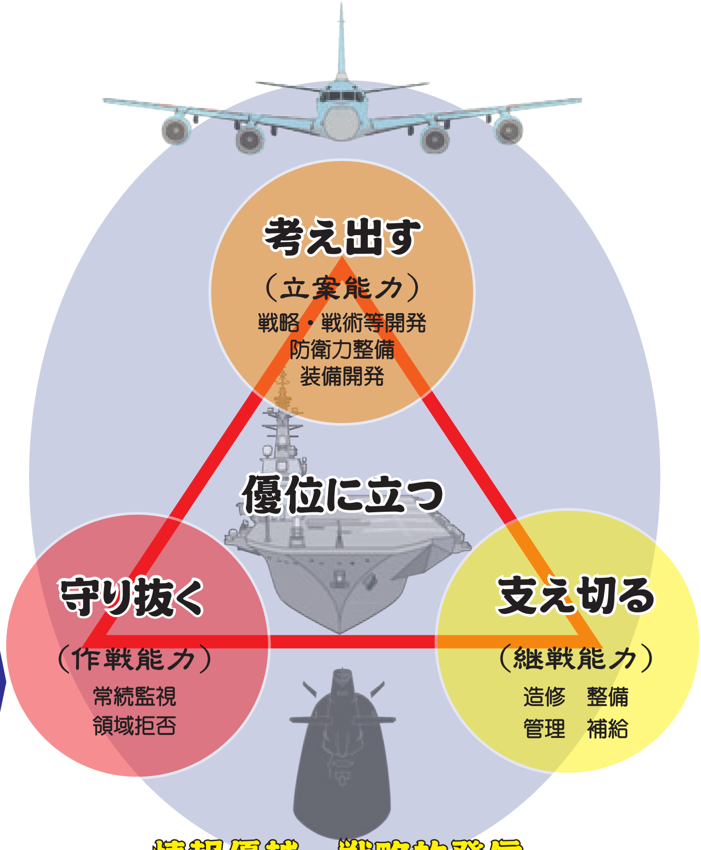
警 戒 監 視　　海賊対処行動　　共 同 訓 練

有事への対応

我が国の平和と安全が脅かされる場合には、脅威を取り除きます。

そのために

能　力



情報優越・戦略的発信

- ＩＷ(Information Warfare)：情報能力の融合により、敵の作戦能力を低下・無能化するとともに、味方の作戦効果を向上
- 適切な発信により内外の理解促進、望ましい活動環境を実現・維持